

～SPAC 設立 30 周年～ 2025 年度年間ラインナップ発表！

演劇を日常へ、SPAC は新たなステージへ

2025 年度、財団設立 30 周年を迎える SPAC は、演劇を通してこれまで磨き上げてきた「人」と「技術」を、環境・交通・観光といった地域活性化にも活用すべく活動を展開していきます。演劇のコアファンだけでなく誰もが演劇を楽しみ、演劇の力が日常生活に染み出していくことで豊かな市民社会の実現を目指します。

その活動の柱として、演劇祭は「SHIZUOKA せかい演劇祭」へとリニューアル。ゴールデンウィークを「PLAY! ウィーク」とし、さまざまな形で演劇/役者の魅力が SHIZUOKA の街にあふれ出ます。

そして、古今東西の名作を上演する「秋のシーズン」では、劇作家の石神夏希氏がアーティスティック・ディレクターとしてディレクションを担い、新たなコンセプトでお届けしてまいります。

また多様な人材育成・アウトリーチ活動を県内各地で展開します。今年度も SPAC の活動にご注目ください。

◎事業・公演内容等は、都合により変更・追加になる場合がございます。

4-5 月

SHIZUOKA せかい演劇祭 2025

PLAY! ウィーク

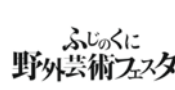


会期：4 月 26 日（土）～5 月 6 日（火・休）会場：静岡芸術劇場、舞台芸術公園、駿府城公園 ほか
毎年ゴールデンウィークに開催される国際演劇祭は、名称を「SHIZUOKA せかい演劇祭」としリニューアル。「ふじのくに野外芸術フェスタ」、ストリートシアターフェス「ストレンジシード静岡」とともにゴールデンウィークを「PLAY! ウィーク」と称し、「PLAY!」（遊ぶ/楽しむ/学ぶ/演じる）を合言葉に、これまで以上に新緑の静岡を盛り上げます。

* 詳細は別途プレスリリースをお送りいたします。



4-5 月 ふじのくに野外芸術フェスタ 2025 静岡



『ラーマヤナ物語』

日程：4 月 29 日（火・祝） - 5 月 6 日（火・休）会場：駿府城公園

宮城聡 × SPAC の新たな冒険譚、古代インドから駿府城公園に降臨！

仏アヴィニョン演劇祭で喝采を浴び、歌舞伎版でも熱狂を巻き起こした『マハーバーラタ』に続き、宮城聡が新たに舞台化するのは古代インド 2 大叙事詩として双壁を成す『ラーマヤナ』。SPAC の俳優、総勢 30 名が立ち上げる超人的なキャラクターや動物たちが縦横無尽に駆け巡り、舞台に配した仕掛けを展開しながら手に汗握る冒険に観客を巻き込んでいく。果たして英雄ラーマとシーター姫の行く末やいかに？！

構成・演出：宮城聡



SPAC 秋のシーズン 2025-2026

世界の名作戯曲を現代の演出でお届けする SPAC のシーズンプログラム。2025 年度は「SPAC 秋のシーズン」は、アーティスティック・ディレクターとして劇作家・石神夏希氏を迎え上演いたします。新たなコンセプトでお送りする「秋のシーズン」にどうぞご期待ください。

◎アーティスティック・ディレクター石神夏希のコメントは、「秋のシーズン」ラインナップ PRR をご覧ください。

「秋のシーズン」では、週末の一般公演に加え、平日には若い世代がはじめて演劇にふれる機会として「中高生鑑賞事業公演」を行い、毎年 1 万人をこえる県内各地の中高生に本格的な舞台鑑賞の機会を提供しています。（*「SPAC 秋→春のシーズン」は「SPAC 秋のシーズン」に名称変更しました）



© 牧田奈津美(F4,5)

#1 **10月** 静岡芸術劇場 | **1~2月** 浜松市浜北文化センター/沼津市民文化センター
三島由紀夫生誕 100 年記念

『弱法師』

作：三島由紀夫 演出：石神夏希

盲目の青年・俊徳が語る「この世の終わりの景色」とは——。現実世界を「幽霊」と否定する彼に、明日はやってくるのか？三島由紀夫が能の詞章を近代劇に翻案した「近代能楽集」の一編『弱法師』を、都市やコミュニティを題材に公共空間でのアートプロジェクトを手掛けてきた劇作家・石神夏希が演出。2022 年に SCOT サマー・シーズン(富山)、舞台芸術公園「BOX シアター」にて初演、四方を客席が囲む舞台とその斬新な演出は高評を得て、今回は静岡芸術劇場での再演となる。太平洋戦争から 15 年、戦災により親とはぐれ、失明した美しい青年・俊徳の親権を巡り、家庭裁判所の一室では二組の夫婦による調停が行われていた。決着がつかない中、見かねた調停委員の級子は、俊徳と二人きりで話をするが…。



石神夏希演出 SPAC『弱法師』©三浦興一

#2 **11-12月** 静岡芸術劇場

『ハムレット』 【新作】

作：ウィリアム・シェイクスピア 演出：上田久美子

「演劇とは自然に対して掲げられた鏡」(ハムレット) ——
国内外での精力的な活動により、いま注目を集める演出家・上田久美子が SPAC に初登場。大衆性と芸術性の架け橋となり、「初めて観る人が楽しめる」ことにこだわる上田が、シェイクスピアの名作戯曲で SPAC と初タッグを組む。デンマークの王子ハムレットは、父の突然の訃報に急ぎ帰国するも、祖国では叔父クロディアスが王位を継ぎ、母は叔父と再婚していた。全てを失い茫然とするハムレットの前に亡霊が現れ、「私を殺したのはおまえの叔父だ、復讐せよ！」と語る。俳優の身体を媒介として、人間の愛憎や正義、死後の存在、宇宙や自然界の摂理を同時に描く意欲作。



2022 年度 全国共同制作オペラ レオンカヴァッロ：歌劇「道化師」より
©2-FaithCompany

#3 1~3月 静岡芸術劇場

『ガリレオの生涯』 (仮題) 【新作】

作：ベルトルト・ブレヒト 演出：多田淳之介

いまわたしたちが常識としているものは、いつ誰によって唱えられたものなのか。天動説が常識とされた時代に地動説を唱えたガリレオの半生を、ナチス時代を生きた自身の生涯と重ね合わせたベルトルト・ブレヒトの傑作戯曲。情報があふれ、何を信じるのが切実な問題となっている現代、この作品が描き出す「真実」とは。2023年、「観光演劇」と称しポップで臨場感のある新感覚の舞台『伊豆の踊子』で多くの若者を魅了した多田淳之介が、この歴史的大作で現代を生きる若者に問いかける。SPACの俳優20名が出演する群集劇。



多田淳之介演出 SPAC『伊豆の踊子』©K.Miura

SPAC 秋のシーズン 2025-2026 | 主催・製作：SPAC-静岡県舞台芸術センター ふじのくに芸術祭共催事業

【2026年度初演予定 | SPAC 新作】 台本・演出：石神夏希

『うなぎの回遊 Eel Migration』 (仮題)

SPAC と劇作家・石神夏希が手掛ける新作パフォーマンス。主要キャストとして県内に多く暮らすブラジルにルーツを持つ地域住民を迎え、彼らとの対話や共同作業を通じて「移動と生殖」をテーマとしたフィクションの戯曲を創作。日本語・ポルトガル語を交えて上演する。

【創作スケジュール (予定)】

2024年6月-リサーチ開始 / 2025年2月-クリエーション開始 / 2026年2月浜松にて ワークイン・プロGRESS発表

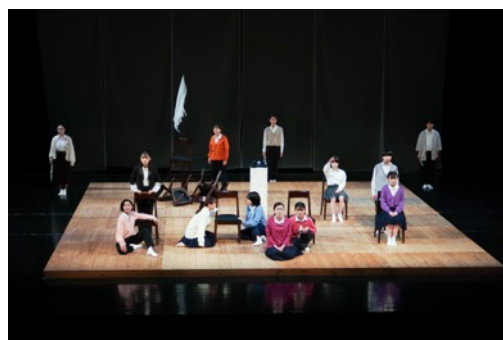
SPAC の人材育成・アウトリーチ事業

世界にはばたけ、Shizuoka youth!

SPAC 演劇アカデミー

【通年】 2025年4月～ 2026年3月

<世界で活躍できる演劇人>を目指す若者の感性を育むことを目的とした高校生対象の1年制の演劇塾。2024年からは23歳までのオーバーエイジ枠を設置。フランス・ルーアンコンセルヴァトワール、韓国・ソウル演劇協会との国際交流事業もスタートしています。



SPAC 演劇アカデミー2期生『葵上』 ©猪熊康夫

<NEW!>

ストリートシアター グローバル人材育成プロジェクト“STRANGE Lab.”

ストリートシアターってなんだ？ゼミ

【通年】 2025年3月～ 2026年3月

6回の講座と実践を通して、参加者がストリートシアターの魅力を深く知り、実践を通じてその可能性を広げることを目指します。



静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業 SPAC 学校訪問プロジェクト

ひらけ！パフォーミングアーツのとびら

通年 実施時期：2025年6月～2026年3月

SPACの俳優・スタッフが各学校や放課後児童クラブなどを訪れ、演劇やダンスといったパフォーミングアーツ（舞台芸術）に触れる機会を提供しています。

参加型	演劇プログラム 学ぼう！えんげき教室
参加型	ダンスプログラム 育てよう！ダンスの種
鑑賞型	演劇プログラム 味わおう！出前劇場 / SPAC インクルーシブシアターであとるてをとる『ちかくにあるとおく』

対象：静岡県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、放課後児童クラブ、放課後こども教室 など
費用：無料



すばっくおやこ小学校

6～8月

親子、ときどき同級生。すばっくおやこ小学校は、親も子どもと同じ「小学生」になって授業を受ける、そんな楽しいイベントです。4年目となる2025年は県内4地域、長泉町、静岡市、菊川市、浜松市で開校！

【対象：小学校1～6年生とその保護者の方】



すばっくおやこ小学校 2023 ©牧田奈津美(F4,5)

SPAC シアタースクール

8月

学校では触れる機会の少ない「演劇の面白さ・奥深さ」を、静岡県の子もたちとその保護者の方々に知ってもらうことを目的に、SPACの俳優・スタッフによる指導のもと、発声、俳優のための基礎的なトレーニング、楽器演奏などを通して「舞台に立つためのからだづくり」を学び、みんなで作りあげた作品を発表します。

構成・演出：中野真希（SPAC）



2024年発表会「オフェリアと影の一座」より ©Y. Inokuma

スパカンファン・プラス

SPAC-ENFANTS-PLUS

8月

カメルーン出身でフランスを拠点に活躍する振付家・ダンサーのメルラン・ニヤカムとオーディションで選ばれた静岡の中高校生&55歳以上のメンバーによる世代をつなぐダンスプロジェクト「スパカンファン・プラス」。2023年から創作をはじめた新作『ISSAMBA～together as one（仮題）』、ワーク・イン・プログレスを経ていよいよ本公演としてお披露目します。

振付・演出：メルラン・ニヤカム

振付アシスタント：太田垣悠



2023年ワークショップ発表会の様子 ©平尾正志

SPACの創作現場では、SPACハラスメントガイドラインに基づき一切のハラスメント行為をなくし、全ての参加者が心身ともに安心して関われるような場づくりに努めています。

お問い合わせやご取材は、「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当 坂本」までご連絡下さい。
TEL：054-208-4008（静岡県舞台芸術公園） / FAX：054-203-5732 / E-mail：koho@spac.or.jp